

みんなで楽しくスポーツを

No.276 2017年6月



スーパー讃岐っ子育成事業 ボクシング競技体験



スーパー讃岐っ子育成事業 なぎなた競技体験

スポーツで 輝く笑顔 豊かな人生



第71回香川丸亀国際ハーフマラソン
平成29年2月5日 Pikaraスタジアム

- オリ・パラ特集
三井住友海上 田中司
- スポーツのすすめ
香川大学教育学部 米村耕平
- スポーツ指導者の声
森下増美、谷口英貴
- わが町のスポーツ自慢
直島町、多度津町
- かがわのスポーツ・レクリエーション
- かがわのスポーツ・インフォメーション





『東京パラリンピックへの挑戦』

三井住友海上火災保険(株)所属
パラ陸上 やり投げ

田中 司

三井住友海上火災保険株式会社所属の田中司です。現在は、高松市で「仕事と競技の両立」を目標に活動しています。今回は、陸上競技やり投げを始めるとの経緯や障害者スポーツ、これからの目標をお話させていただきます。

パラ陸上との出会い

小学2年から野球を始め、将来は甲子園出場・プロ野球選手になりたいと日々泥まみれになりながら白球を追いかけていました。小学校では、太田南オークスで全国スポーツ少年団香川県予選3位となり、西日本大会に出場しました。中学校では太田中学校で香川県総体3位になるなど、順風満帆な野球生活を送っていました。

しかし、中学3年の冬に遺伝性の視神経萎縮「レーベル病」という視力障害を発症し、野球を続けることを断念しました。医師からは、治療法がなく今後視力の変化はわからないと診断されました。中学3年の冬で受験シーズンが始まっている中、私は県内の私立高校へ進学が決まっていたのですが、入学を辞退しました。そして、少しでも進捗を遅らせようと大阪の鍼灸院へ通い始めました。野球を続けることを断念したものの、他のスポーツで頑張りたいと模索する中で、鍼灸師から勧められたのは相撲部屋(式秀部屋)への入門でした。野球と相撲とはジャンルが180度違いますが、再び選手としてスポーツができる喜びが強くなり、入門を決意しました。5月場所国技館で新弟子検査に合格し、番付を決める前相撲で4勝3敗と勝ち越し、7月場所名古屋で四股名「徳島」で序ノ口として番付に載りました。初戦を白星で飾り、最終的に4勝3敗で初場所を勝ち越し、序二段へ昇段し

ました。当時、力士は1200名在籍しており、幕内に上がるのは狭き門と言われていましたが、少しでも番付を上げようと必死に稽古に取り組みました。ところが、相撲ならではのぶつかりにより視力が急激に悪化し、目の前の相手がどこにいるかわからない状態までになりました。これ以上続けることは困難と引退を決意したと同時に、突発性難聴を発症し入院することとなりました。そこで、同じ病室で障害者スポーツに携わっている方との出会いをきっかけに、一緒に今の視力でできる障害者スポーツを探しました。障害者スポーツをあまり知らず、一時はこれでスポーツを諦めようとも思いましたが、心の底で「もう一度スポーツで花を咲かせたい」「日の丸を背負って世界で戦いたい」という思いが捨てきれませんでした。障害者スポーツを調べる中で、視覚障害者柔道やゴールボール、陸上など多種のスポーツがあることを知り、視覚障害者柔道に挑戦することにしました。初めての大会「全国視覚障

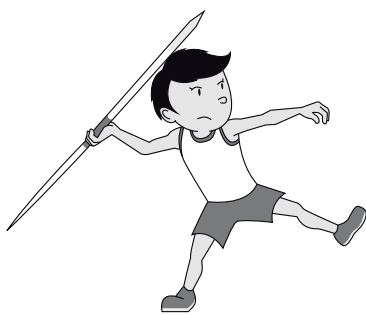


新潟ジャパンパラ大会

害者学生柔道大会」で90kg級銀メダルを獲得し、強化指定選手に指定されました。一方で視力の悪化は止まらず、自分の視力と向き合おうと病気について調べました。調べる中で、衝撃が悪いということがわかり、視覚障害者柔道を断念しました。そして衝撃の少ないスポーツを探した結果、陸上競技の投てき種目にたどり着きました。砲丸投げ・円盤投げから始め、競技歴1年で2013年のアジアユースパラで金メダルを獲得しました。ようやく視力に影響が少なく、体格を最大限に生かせる競技にたどり着き、幸せでした。翌年よりやり投げに一本化し、パラリンピック出場を目指して日々練習に取り組んでいます。

地域のために

中学校・高校や警察署などでテーマ「夢への挑戦」でこれまでスポーツを続けてきた経緯やこれからの夢（目標）の設定方法など進路関係を中心にお話をしています。講演後には、「新たな夢が見つかった」「いろいろなことに挑戦をしたい」などお手紙をいただいています。また、2015年夏に、鳥取城北高校野球部出身の政成くんとの対談が実現しました。彼も、私と同じレーベル病を抱えながら、マネージャーとしてチームを甲子園出場に導きました。対談を機に彼もやり投げを始め、競技場で再会することができました。これから、仲間であり、よきライバルとしてパラ陸上を盛り上げていきたいと思っています。



政成さんとの対談

そして、来年、屋島レクザムフィールドにて日本パラ陸上競技選手権大会の開催が決定しました。全国各地から選手・スタッフ合わせ約300人が参加予定です。競技成績が世界ランキングに反映され、アジアパラリンピックの選考大会ともなる重要な大会です。これまで、パラ陸上の大会は首都圏で開催されることが多かったのですが、地元高松で開催されることから、いつも支援・応援していただいている方々に実際に投げている姿を見ていただく絶好の機会だと思っています。選手として、日本記録更新や優勝はもちろんです。一人でも多くの方に競技場へ足を運んでいた、障害者スポーツを見て触れていただけたらと思います。

のためにも、事前合宿の開催や学校への出前講座などのPR活動を、自治体や民間企業・市民そして他のパラアスリートと連携しながら進めていきたいと思っています。この大会は単なる大会ではなく、今後の障害者への理解と障害者スポーツのレベルアップ、交流の推進に繋がる絶好の機会だと思います。

東京パラリンピックへの挑戦

昨年のリオデジャネイロパラリンピックの出場権獲得には、参加標準記録突破、世界ランキング8位以内という規定がありました。私は参加標準記録を突破しましたが、世界ランキング10位ということで出場とはなりません。あと一歩と悔しい思いをしましたが、やり投げを本格的に始めて2年目でパラリンピックの選考に入れたことは、自分自身貴重な経験となりました。この悔しい思いをバネに、2020年東京パラリンピックでは必ず出場、そして少しでもよい順位を目指したいと思います。

今後、視力がどのように変化するかわからないという不安はありますが、野球や相撲、視覚障害者柔道など、多種のスポーツを経験すること

でたくさんの思い出ができました。これらは、視力障害を発症したからこそ経験できたことです。そして、ようやく真剣に取り組める陸上競技にたどり着きました。ここまで、長い時間がかかりましたが、パラリンピック出場を視野に入れながら、たくさんの方に支えられて競技が出来ることに感謝をしています。これからも少しでも社会に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。引き続き暖かいご声援よろしくお願ひいたします。



中学校での講演風景



「スポーツの魅力が 子どもの可能性を拓く」

香川大学教育学部
准教授 米村 耕平

スポーツには多くの魅力が存在しています。例えば新しい動きが身に付きできなかったことができるようになったり、動きが上達して試合に勝てるようになったり、自分の記録を達成できるようになったり、勝敗を喜んだり悔しがったりする仲間に出会えたり、勝敗を超えて尊敬できる相手と出会ったり、フェアに競争することの清々しさを感じたり、と枚挙にいとまがありません。これらのことを一言で言えば「自分の可能性を拓く」という魅力といえるかもしれませぬ。これらの魅力が子どもに与える影響力は大きく、その効果も大きく期待されています。

私自身、体育授業を研究する立場上、子どもに対する前述のようなスポーツのもつ影響力を目的の当たりにすることが多々あります。特に、体育授業が嫌いだったり、運動が苦手だったりする子どもがスポーツのもつ魅力に触れ、自分の可能性に触れたときに見える明るい表情、輝く目はとても印象的です。このようなス

ポーツの魅力に触れた子どもは、体育授業が好きになり、自分に自信がもてるようになり、ひいては他教科や日常生活でも積極的に学習に向き合うようになる姿が多く見られるようになります。しかしながら、運動やスポーツの魅力に子どもを触れさせることのできなかった体育授業によって体育授業嫌いや運動嫌いを生み出してきたこともまた事実です。特に運動が苦手な子どもや運動経験が少ない子ども、運動能力が乏しい子どもがスポーツのもつ魅力に触れる機会はほとんどなかったように思えます。

では、このようなスポーツの魅力に子どもたちはどのようにしたら触れることができるのでしょうか。ここでは、子どもがスポーツの魅力に触れることのできる体育授業の主な共通点についてお話しします。

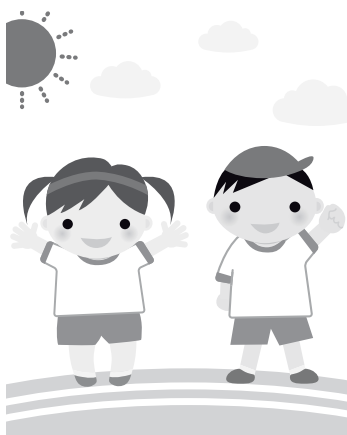
一つ目は、成功体験の保障です。これは小さな成功体験から始まり、それを積み上げながら徐々に大きな

成功体験へとつなげていくということになります。ここでいう小さな成功体験とは「今もっている力でより上手になる」ということであり、新しい技術や運動能力を身に付けなくても、できるようになったり、上達するようになったりすることを意味します。これは「遊び」に近い考え方になります。遊びの代表として鬼ごっこを、ここでは「手つなぎ鬼（増え鬼）」を例にしますが、手つなぎ鬼は子どもが今ある力で十分に楽しめる遊びです。ところが、そんな遊びの中にあつても鬼になった時になかなか捕まえることができない子どもやすぐに捕まってしまう子どもが出現してきます。そのような子どもに「だれから捕まえる？」「仲間の鬼とどうやって協力する？」や「どこに逃げたら捕まらないかな？」といったちよつとしたアドバイスと本人の工夫でその子パフォーマンスが大きく向上します。この向上は子どもに自信を与え、子どものやる気に火をつけます。

二つ目は、子どもの小さな向上を見逃さない指導者の肯定的な関わりです。子どものできていない部分を指摘することは比較的容易なことです。しかしながら、この小さな向上

を見逃さず適切なタイミングで肯定的にかかわることは指導者に大きな意識改革を求めます。私たち指導者やスポーツ運動ができる人間にとつては「当たり前」のことが、運動が苦手な子どもや運動能力の乏しい子どもにとっては「特別なこと」であることを意識的に理解しなければならぬからです。この出来事を共感的に受け止め、その子の向上をしっかり認め褒めなければなりません。

この二つの共通点は、初心者指導や運動が苦手な子どもの指導の際に大いに役立つこととなります。そして、スポーツの魅力は子どもの生活に確かな潤いを与え豊かにしてくれます。多くの子どもたちがスポーツの魅力に触れることができるようになることは、私たち運動やスポーツの魅力を知る大人たちの大きな仕事であると考えます。



「クラブとともに 指導者の道をひらく」



NPO法人カマタマーレ
スポーツクラブ事務局・
クラブマネジャー 森下増美

私は、ソフトテニスに関わり半世紀を超え、決して上手とは言えませんが「負ける人がいるから勝てる人がいる。決して1人では勝負にならない」と言い続けて現在も現役です。長く続けることで、プレーする事の楽しさを知り仲間にも恵まれました。また、指導者としては東四国団体の開催が決定し普及活動の為、昭和57年ソフトテニス教室の開催となりましたが、競技力強化に力が入り普及に関わる人も少なく、微力な私が教室を継続する事となりました。その頃から、多くの人がスポーツにふれあえて、人が集まる場所づくりをすることで、生涯スポーツの手助けが出来ればと考えるようになったと記憶しております。

NPPO法人カマタマーレスポーツクラブは平成18年9月にカマタマーレ讃岐の運営法人として設立。平成20年3月からは総合型地域スポーツクラブを目指して活動を始め、平成24年4月から事務局・クラブマネジャーを引き受ける事となりました。高松大学・高松短期大学生涯学習教育センター（現 地域連携センター）内に事務所を移転し、活動拠点となるスタジオを木太町にかまえて5年、平成29年4月、香川県の総合型地域スポーツクラブとして新たなスタートを切りました。

今後は、地域とのさらなる連携強化や皆さまのニーズに合ったスポーツ教室の開催、指導者の育成・研修会の開催と夢は広がります。課題は多くありますが、指導者の皆さんに活動場所を提供することはもとより、教室参加者が指導者を目指し活動を継続していただけたら最高にしかわ寄せを感じられると思います。今では人との出会いに助けられ、まだまだ頑張れるような気持ちになりました。一人では出来ない事も仲間がいれば頑張れます。皆さんも一緒に活動しませんか！！



「ボールと心をつなぐ バレーボール」



香川県
小学生バレーボール連盟
会長 谷口英貴

私が小学生バレーボールの指導を始めたきっかけは、ご近所の方から「小学校の体育館で子供たちがバレーボールをやっているの、見に来ない？」と声をかけられたことです。その後、何気なく体育館に足を運ぶと、その光景に衝撃を受けました。「小学生がここまでできるとは...」そして、練習終了後、こう紹介されたのです。「コーチの谷口君です」と。私は何が起きているのかわからないまま、「よろしくお願います」と挨拶をしてしまいました。今思えば、「見る」＝「指導する」ということだったのですね。

あれから、約34年。全国大会出場など、子供たちにはいい経験をさせてもらっていると感謝しています。一方で、私は子供たちに何を伝えることができたのか、あまり思い浮かびませんが、ただ、達成感を味わってもらったため、練習内容には気を配っています。特に、初めてサーブが入った時の満面の笑顔を見ると、

やっつけてよかったと思います。現在、私は香川県小学生バレーボール連盟の会長職を拝命していますが、小学生にバレーボールを教える指導者たちの代表という感覚でいるよう心掛けています。そして、体力の続く限り、現役の指導者でいたいと思っています。バレーボールは相手にミスさせるスポーツ。そのためには、チームメイトに「どうぞ」という優しい気持ちでボールを運ぶことが大切です。「ボールと心をつなぐバレーボール」を通じて、子供たちが他人の指示を待つのではなく、自ら考えて行動できる人間に成長してほしいと切に願います。



直島町

『ニュースポーツ体験教室』

直島町子ども会育成連絡協議会では、平成18年度から毎年町内各地区の子ども会会員並びにその保護者を対象に「ニュースポーツ体験教室」を開催しています。

平成28年度は、3種目のニュースポーツ（ドッチビー・シヨートテニス・シャッフルボード）体験を行いました。

初めに参加者全員で簡単なレクリエーション・準備体操を行った後、3グループに分かれて時間交代制で各種目を体験しました。各種目の指導は直島町スポーツ推進委員会の皆さんで、ニュースポーツのルール・楽しさなどを優しく丁寧に教えていただきました。最後は、子どもたちが一番人気のドッチビーのゲームに参加者全員で行いました。子どもたちの要望でゲームの途中から2枚、3枚とディスクを増やしていき、子どもだけでなく大人にも難易度の高いゲームとなりました。ニュースポーツの魅力は、体力差・

年齢差に関わらずみんなで楽しむことができるという点にあります。また、このニュースポーツ体験教室は、対象が子ども会会員ということでも小学生全学年が集まるために、異年齢交流の場となっており、高学年がリーダーシップを発揮して、低学年を引っ張っていく場面もあります。今後とも、子どもたちが伸び伸びと体を動かす行事を継続的に行ってこどもたちももちろん、子どもたちが自ら学び・成長する場をつくっていきたくと考えています。



連絡先 直島町教育委員会
電話 087-892-2882
FAX 087-892-3888

多度津町

『多度津さくらプール 楽しい各種教室』

多度津町立屋内温水水泳プールでは、幼児から高齢者までスポーツを通じて心身の健全な発達を目的とする各種16教室を実施しております。プールでは大人の水泳教室初級2クラス・中級2クラス、幼児の初めてのプール教室3クラス、小学1・2・3年生初級水泳教室3クラス、小学4・5・6年生初級水泳教室1クラス、アクアエクササイズ1クラスを実施し、水の楽しさ、水の効力を体で感じながら楽しい教室を行っています。また、2Fトレーニングルームでは、ストレッチ教室3クラス、バランスボール教室1クラスを実施しケガの予防や精神面・身体面のリラククスにも役立ち、高齢者も無理なく楽しく行っています。年2回の開設で各種教室12回の受講で平成28年度では年間延人数3755名の参加がありました。

年1回の開設で、「夏直前！小学1・2・3年生の初級短期水泳教室」を6月の1ヶ月間週2回の全8回を実施し、学校のプール授業で少しで

も泳げるように基本を身につけながら、水泳の楽しさを感じていただく目的で行っております。保護者の方から、「泳げるようになった」「顔つげが出来た」「子供がプールを楽しみにしている」等、うれしい声が届いています。また、大人の教室では「体が楽になった」「肩こりが和らいだ」「体力がついてきた」等、これからも続けてほしいという多くの方からの声もあります。さらに、ストレッチ、バランスボール教室も継続して行っております。

町内に限らず町外からの参加者もあり、新しい友達作りの交流の場にもなっております。皆様も楽しく身体を動かしてみませんか。



連絡先 多度津町立屋内温水水泳プール
多度津さくらプール
電話 0877-33-4300
FAX 0877-33-2950

かがわのスポーツ・レクリエーション

第28回県民スポーツ・レクリエーション祭を開催します!!

だれもが気軽に、それぞれの年齢や体力、目的にあわせてスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、これを契機に、県民の皆さんが健康で豊かなスポーツライフを営んでくださることを目的として、今年も県民スポレク祭を開催します。



開会式での選手宣誓

《ふれあいスポレク広場》

11月12日（日）にサンポート高松で行われる自由参加の体験コーナーです。
参加無料です。景品がもらえるスタンプラリーも実施します。

No	種目名	No	種目名
1	いきいきらくらく3B体操	11	パークゴルフ
2	ステップ21楽しく・エクサ	12	スポーツ吹矢体験
3	キンボール	13	車椅子レクダンス体験コーナー
4	ニュースポーツ・レクリエーション	14	ボールルームダンス体験コーナー
5	レク式体力チェック	15	みんなで太極拳
6	竹とんぼ教室	16	導引養生功体験
7	車いすに乗ってスポーツを体験しよう	17	スナッグゴルフ
8	野外活動・釜揚げうどん体験	18	香川プロスポーツ
9	体力テスト	19	讃岐っ子チャレンジ大会
10	健康相談	20	各団体啓発ブース

《レクリエーション大会》

11月12日（日）にサンポート高松とその周辺で行われるレクリエーション3種目です。
当日申込も受け付けます。

No	種目名
1	オリエンテーリング
2	ファミリーサイクリング
3	ウォーキング



スロージョギング体験会の様子



元気いっぱい体を動かし
たくましい讃岐っ子に!

讃岐っ子チャレンジ大会 同時開催!

体力を向上させるには、様々な運動体験を積み重ねることが大切！
友達や家族の人を誘って、いろんな運動にチャレンジしてみましょ
う。

当日は、ペア種目でドッジキャッチ、馬跳び、キックパスを、グ
ループ種目で8の字大なわとびの種目を予定しています。
種目ごとに表彰しますので、たくさんの方のご参加をお待ちして
います。

かがわのスポーツ・レクリエーション

《スポーツ大会》

9・10月を中心に実施します。団体に登録しなくても参加できます。
家族や友だちを誘って、スポーツで心地良い汗を流しましょう!!



No	種目名	会場	期日
1	グラウンド・ゴルフ	瀬戸大橋記念公園球技場	5/25(木)
		さめき空港公園	8/5(土)
		高松市立東部運動公園	9/6(水)
2	ママさんバレーボール	飯山総合運動公園体育館	6/18(日)
		サンビレッジ土器川	
3	親子バドミントン	坂出市立体育館	7/15(土)
4	年齢別ラージボール卓球	三豊市総合体育館	8/20(日)
5	インディアカ	飯山総合運動公園体育館	8/27(日)
6	ペタンク	坂出市番の州多目的広場	9/2(土)
7	ホッケー	三菱ケミカル坂出人工芝グラウンド	9/3(日)
8	ボウリング	太洋ボウル	9/3(日)
9	ソフトボール(壮年、女子)	丸亀市土器川公園ソフトボール場	9/3(日)
10	クレー射撃	高松国際射撃場	9/3(日)
11	ゲートボール	綾川町総合運動公園多目的グラウンド	9/6(水)
12	実年者バレーボール	白鳥中央公園体育館他	9/10(日)
13	ターゲット・バードゴルフ	瀬戸大橋記念公園	9/17(日)
14	キッズサッカー	瀬戸大橋記念公園球技場	9/18(月)
15	ソフトバレーボール	とらまるてぶくろ体育館	9/24(日)
16	バウンドテニス	三豊市立総合体育館	9/24(日)
17	ミニテニス	高松市立香南中学校体育館	9/24(日)
18	パドルテニス	高松市牟礼総合体育館	10/8(日)
19	ポッチャ	リハビリテーションセンター体育館	10/9(月)
20	エアロビック	県青年センター体育館	11/23(木)
21	合気道	県立武道館	11/26(日)
22	男女綱引	丸亀町壱番街前ドーム広場	11/26(日)
23	マウンテンバイク	未定	未定
24	3on3バスケットボール	未定	未定

《参加申込み》

スポーツ大会、レクリエーション大会は、要項に従ってそれぞれの主管団体へお申込ください。実施要項及び参加申込書は、7月上旬頃に県立体育施設や各市町教育委員会などに配布の予定です。

(6月開催のスポーツ大会については、5月下旬頃配布)

また、「かがわスポーツ情報ネット」ホームページからもダウンロードできるようになります。

多くの方の参加をお待ちしています!

〈詳しくは〉

県教育委員会事務局保健体育課生涯スポーツ担当まで

TEL 087-832-3762

FAX 087-806-0235

かがわスポーツ情報ネット <http://www.pref.kagawa.jp/sportsnet/>

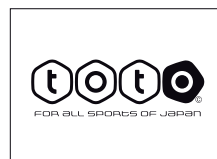
うどんツルツル!
スポーツスルスル!



誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを
育てるために使われています。

かがわのスポーツ・インフォメーション

平成29年度
生涯スポーツ指導者
養成講座

この講座は、スポーツに関する理論と実技についての研修を深め、県民のスポーツニーズに適切に対応できる指導者の育成をめざしています。

スポーツに興味があり、スポーツ指導者を志す方々の参加を募ります。また、公益財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー資格の取得が可能です。(条件4回〜6回の講義をすべて受講・認定試験に合格・18歳以上・テキスト代、認定料有料)

主催 香川県教育委員会
受講料 無 料
申込・問合せ先

香川県教育委員会事務局保健体育課
スポーツグループ
☎0871-83213762(直通)



(昨年度の一コマ:テーピング法)

回	日 時	場 所	内 容
1	6月25日(日) 10:00~16:30	県青年センター	(実技) やさしいテーピング法 救急法(心肺蘇生法・AED講習)
2	7月2日(日) 9:30~15:30	県青年センター	(実技) トレーニング実技 レクリエーション活動
3	7月9日(日) 9:30~15:30	県青年センター	(実技) 障害者スポーツ 有酸素運動&レジスタンス運動
4	9月3日(日) 9:30~15:30	県青年センター	(講義) 指導者の役割I 文化としてのスポーツ* 地域におけるスポーツ振興*
5	9月10日(日) 9:30~16:00	県青年センター	(講義) トレーニング論I・スポーツと栄養 スポーツ指導者に必要な医学的知識I
6	9月24日(日) 9:30~15:00	県教育センター	(講義) ジュニア期のスポーツ・指導計画と安全管理 安全と保障 (資格認定試験は15:00~16:00)

*は総合型地域スポーツクラブ研修会を兼ねる。

総合型地域スポーツクラブ
「香南ししまるスポーツクラブ」
会長 太田 盛廣

私達のクラブは、旧香南町の体育指導員が中心となり、目標会員数を200名として、平成17年12月に設立され今年で13年目を迎えました。

クラブ運営は、ボランティアで行っており、会員数も400名以上を常に確保していて経営的に安定しています。

活動拠点を、高松市立香南中学校の体育施設とし、他にも近隣の体育館・庭球場・コミュニティセンターも使用して活動を行っています。

活動種目は現在13(教室・サークル数は32)あり、毎日どこかで何かのスポーツを行っています。中でもニュースポーツの「パドルテニス」「ミニテニス」「キンボールスポーツ」は、県下の中心的存在であり、生涯スポーツの普及に大いに貢献をしています。

また香南地区コミュニティ協議会の構成団体として地域活動にも、積極的に参加をしています。そして会員以外の誰もが参加できる「ししまるスポ・レク」「ししまるレク祭」「ス

キー教室」「スプリングウォーク」各種の大会開催」も行っています。

昨年11月には「香川県教育文化功労者表彰(生涯スポーツ団体)」を受賞しました。これは、地域の人たちによるボランティア運営で、子どもから高齢者までが参加できて楽しめるクラブ活動が評価されたものです。この受賞を機に、更に安定したクラブ運営を目指します。



連絡先

電話 090-8691-8829

(太田)

第2期「スポーツ基本計画」(平成29年度からの5年間)

～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～

平成29年3月24日、スポーツ庁はスポーツ基本法の規定に基づき、第2期「スポーツ基本計画」を策定しました。第2期計画では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機として、「スポーツ参画人口」を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことを基本方針としました。そのための社会環境整備について139の施策を盛り込みました。

スポーツ参画人口の拡大

スポーツへの関わり方は「する」だけでなく「みる」「ささえる」ことも含まれており、スポーツを「する」人を増やしつつ「みる」「ささえる」ことで全ての人々がスポーツに関わっていく社会の実現を目指している。その中で、成人の週1回以上のスポーツ実施率を42.5%から65%程度（障害者は19.2%から40%）、スポーツをする時間を持ちたいと思う中学生を58.7%から80%となるよう数値目標を掲げた。そして、楽しく継続して取り組むことができるような「スポーツプログラム」を策定し、高齢者のスポーツ参加機会の充実を図ることや、女性がスポーツに参画しやすい環境整備、障害者スポーツの裾野拡大に向けた取組みも推進していく。また、スポーツを「1年に1回もしない」未実施者が現在32.9%おり、今後もするつもりのない層が27.2%を占めることから、スポーツ未実施者を「ゼロ」に近づけることについても取り組む方針である。

総合型地域スポーツクラブの質的充実

現在、総合型地域スポーツクラブは全国に約3600あり（設置率は80.8%）、会員は約130万人。自己財源率が50%以下のクラブが43.5%となっている。総合型クラブは、住民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みであり、地域スポーツの担い手として大きな役割を果たしている。このことを踏まえ、研修会の開催や先進事例の情報発信等により、運営の改善等を図る総合型クラブを現在の37.9%から70%に増加させる。また、総合型クラブによる地域課題解決に向けた取組みを推進する事業を支援するなど質的充実を図る。さらに、市町村が主体となり総合型クラブの育成を促進する取組みの支援も行う。

障害者スポーツの振興

地方公共団体において、障害者スポーツの推進体制は十分でなく、障害者が専用または優先的に使用できるスポーツ施設は114か所にとどまり、中には車椅子での施設利用等を拒否されるケースもある。そこで、障害者が健常者と同様にスポーツを親しめるようバリアフリー化やユニバーサルデザインの推進を行っていく。そのことによりスポーツ施設の利用や観戦のしやすさを向上させるなど環境を整備し、スポーツ実施率の向上を目指す。また、総合型クラブへの障害者の参加についても現在の40%から50%へと向上させるとともに、障害者スポーツ指導者の養成を現在の2.2万人から3万人へと拡充していく。

女性の活躍促進

現在、中学生の女子の21.7%が、スポーツが「嫌い」・「やや嫌い」であり、運動習慣の二極化が見られている。また、20代から40代の女性のスポーツ実施率（週1回以上28.2%）が特に低く、スポーツ指導者の女性の割合（27.5%）やスポーツ団体における女性役員の割合（9.4%）も同様に低いことが課題として挙げられている。そこで、国は、学校及びスポーツ団体と連携し、女性スポーツに関する調査研究を行った上で、女性がスポーツに参画しやすい環境を整備するとともに、女性のニーズや意欲に合ったスポーツ機会を提供していく。それと同時に、女性指導者増加にも取り組み、スポーツ団体における女性登用の促進を図り、スポーツ団体に対しその取組状況について発信するよう要請していく見込みである。

スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核
スポーツで「人生」が変わる！「社会」を変える！「世界」とつながる！「未来」を創る！
そして・
「一億総スポーツ社会」の実現へ！！

詳しい内容については、スポーツ庁ホームページ「第2期スポーツ基本計画」を検索



スーパー讃岐っ子育成プログラム

事業開始8年目となる平成28年度は新しく4年生(8期生25名)と、5年生(7期生5名)が選考され、3学年あわせて計105名(6年生35名・5年生40名・8期生25名)で活動しました。

6年生(6期生)は多くの競技体験を、5年生(7期生)は基礎能力の伸長プログラムから競技体験への移行を、4年生(8期生)は身体やコミュニケーションなどの基礎能力を伸長させることをねらいとしたプログラムを実施しました。

また、子どもたちをサポートする保護者の方にも、スポーツ障害、栄養学などの講義を受講していただきました。今後もトップアスリートを目指す活動を継続していきます。

	前期(4月~7月)	後期(10月~3月)
4年生(8期生) プログラム10回	募集・書類選考・最終実技選考	身体・コミュニケーション能力I 基礎能力育成I 競技体験:マイスポーツ発見プログラム 保護者プログラム
5年生(7期生) プログラム16回	身体・コミュニケーション・基礎能力育成II 競技体験:ボウリング、飛込、ボート 保護者プログラム	身体・コミュニケーション能力II 競技体験 陸上競技、ボルダリング、ラグビー、スケート 保護者プログラム
6年生(6期生) プログラム19回	競技体験 銃剣道、なぎなた、陸上競技 ハンドボール、水球、カヌー 県外交流プログラム	競技体験 フェンシング、レスリング、ボクシング、なぎなた ホッケー、アーチェリー、ウエイトリフティング パスウェイトライアウト 保護者プログラム

6年生(6期生)修了式

6年生(6期生)が3月18日に修了式を迎え、西原教育長から修了証が手渡されました。教育長からは、「周囲への感謝の気持ちを忘れず、目標に向かってたゆまぬ努力を続けてください。そして将来、本県さらには日本を代表するトップアスリートに育っていかれることを願っています。」と送別のことばがあり、修了生を代表して森北さくらさんが、「中学生に向けて学んだ、JSCプログラムのアスリートライフスタイルを活用し、目標・計画・評価をくり返して競技を続け、将来はオリンピックで活躍できる選手になることを目標に努力していきます。」と旅立ちのことばを述べました。

平成29年度からは「スーパー讃岐っ子シニア事業(中学生)」の2期生として、共通プログラムや専門的競技クラブ(アカデミー)への参加をサポートし、それぞれの競技でより良い成績を残せるように支援していきます。

スポーツ体験プログラム

小学校3・4年生の約150名が、走・跳・投の基礎動作を中心に計5回のプログラムに参加しました。

各競技の専門の指導者から実技指導を受けたほか、マイスポーツ発見プログラムにおいては、ホッケー・フェンシング・なぎなたなどこれまで体験したことのない競技を体験することができました。普段の学校・家庭生活で経験できないことを体験し、運動に取り組むよききっかけづくりとなりました。

回	月	日	曜日	会場	内容
1	10	9	日	Pikaraスタジアム	走動作(香川陸上競技協会)
2	10	16	日	Pikaraスタジアム	跳動作(香川陸上競技協会)
3	11	19	土	丸亀市民体育館	マイスポーツ発見プログラム(各競技団体)
4	11	23	水	Pikaraスタジアム	投動作(香川オリープガイナース) 保護者プログラム(ゴールデンエイジとは) 四国医療専門学校スポーツ医療学科長 花房 順子
5	1	7	土	Pikaraスタジアム	球技(カマタマーレ讃岐)